

霞ヶ浦用水施設特別見学会を開催

水資源機構では、「水がささえる豊かな社会」を共に作り、共に支えていただける皆様にご支援をお願いしております。

ご支援いただきました寄附金は、水質の保全・改善、自然環境の保全、水源地域の皆様との連携・交流など、水資源機構事業の推進のための活動や取組に有効活用させていただきます。

現在、関東の水がめとして首都圏を支えてきた矢木沢ダム completion から 50 周年を記念し、ダム・水源地域の役割についてより知っていただくとともに、水源地域を支援することを目的としたプロジェクトとして、矢木沢ダム湖畔にベンチ、サイクルスタンド等を設置や平成 29 年 1 月に房総導水路通水 30 億 m^3 を記録したことを記念し、房総地域の生活や産業を支える房総導水路がより親しまれる施設となるよう東金ダム・長柄ダム湖畔のベンチ等の更新を計画しています。

そのような中で、事業に支援をいただいた方を対象に 9 月 24 日に霞ヶ浦用水施設の特別見学会を開催しました。



管理所の屋上から広大な霞ヶ浦の大きさを感じていただくと共に、遠くの筑波山や牛久大仏の景観を楽しんでいただきました。



霞ヶ浦用水の心臓部である揚水ポンプ。特に農業用水 1 号ポンプは 8,000kw のモーターとの組み合わせでは日本一の規模となっており、その大きさにビックリしていました。



点検中の農業用水 3 号ポンプの回転数を制御する設備の内部を見学していただきました。普段見ることが出来ない部品の説明を行ったことで、見学者は大変興味を持って聞いていました。



多数の配管やケーブルが張り巡らしている地下部分は、普段の見学会では見られないのですが、機構の事業に支援していただいていることと少人数であったこともあり、設備の説明をさせていただきました。